

第38回日釣連グレ釣りトーナメント大会 優勝 大阪府釣連盟 野尻 克幸



令和8年6月14日、兵庫県家島諸島で開催された第38回日釣連盟グレ釣りトーナメントに参戦しました。

今大会は、ワンデイ開催ということで3人対戦を勝ち上がり続けられないといけないルールです。

まずは1回戦コンベヤという場所での対戦でした。



試合が始まり仕掛け投入して早速あたりがあり、抜きあげサイズなので取り込もうとすると、手でつかむ前に空中でリリース

気を取り直して仕掛けを投入、またすぐにウキが沈み合わせを入れると素針を引いてしまい、なんだかリズムが速いのかその後グレを4尾取り込みながらも、2尾魚を

落としてしまい、潮が変わるとあたりもなくなり1クール目が終了。

2クール目、風は右に、潮は左への当て潮、しかも前日の雨のせいかゴミだらけの中全然攻略できずノーフィッシュ。

3クール目は潮も緩み合計8尾で1回戦終了。

その後検量前、足場の石が崩れ転倒、とっさに手をついてすり傷程度ですんで検量、京都府釣連盟代表の池上選手は自分より数も多く大きいのも持ってたので、正直負けると思ってたが、僅差で勝ち準決勝に行くことができた。



準決勝の場所はアシベの北

1回戦で魚も落として素針も多く、転倒もしたけど、準決勝の場に立ててるので何故か今日はいけると思い集中し、釣れる魚を淡々と釣り続けたく、やわらかい餌で違和感を与えず早合せしないよう心がけて釣りをした

この試合は風と潮が色々変わり難しい釣りになったが、入った場所の順番のおかげもあり勝ち抜け。

決勝に駒を進める事が出来た



決勝の場所はズルベタ



対戦相手は、色々な決勝大会常連の兵庫県釣連盟の縁起の良さそうな名前の神吉選手と、最近メキメキと実力を付けてきてる三重県釣連盟の釣りを科学する富屋選手でした。



第1クール穂先でライントラブルになり強制サミングがかかったたのも一因？リミット達成。



2クール目3クール目は入れ替えを意識しての釣りに専念、しかし思い通りの展開には持って行けず。

第3クールで自分史上家島諸島最大クラスの魚をバラしてしまい歯がゆい思いをしてました。



試合が終わり検量、3人とも僅差だろうと思ってたが、ほんとに僅差、僅差どころかわたしと神吉さんはなんと同重量、ジャンケン勝負、これを制して万年3位まで男返上で、優勝する事が出来ました。



なんか神がかってるといとか、運が良い
 といとか、自分みたいな凡人が、勝てる時っ
 てこんな感じなんですかね。

こんなこともあるのでまだまだ釣り続け
 たいと思います。

そしてまた優勝を目指したいです。

今大会準備運営頂いた兵庫県釣連盟、日
 釣連役員の皆様、及び選手の皆様、安全な磯
 渡し頂いた、住栄渡船様、協賛頂いたメーカ
 ー各社様

お世話になりありがとうございました

